

表 44 2014年末わが国の慢性透析療法の現況(所在県別)長崎県
42 長崎県

透析施設の現況(施設調査票より)	
施設数	65
ベッドサイドコンソール	1,686
同時透析	1,666
最大収容	5,278

透析患者数(施設調査票より)						
	通院		入院		合計	
昼間	2,924	(82.65)	386	(96.98)	3,310	(84.10)
夜間	482	(13.62)	9	(2.26)	491	(12.47)
在宅	3	(0.08)	0	(0.00)	3	(0.08)
腹膜透析	129	(3.65)	3	(0.75)	132	(3.35)
合計	3,538	(100.00)	398	(100.00)	3,936	(100.00)

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

新規導入、死亡患者数(施設調査票より)	
導入患者	443
死亡患者	377

腹膜透析に関する患者数(施設調査票より)	
HD、HDF等とPDを併用している患者数	24
腹膜カテーテルを残している洗浄患者など	10
腹膜透析新規導入、年内脱落患者数	3

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy
2014年末調査

透析従事者数(施設調査票より)							
	医師	看護師	臨床工学士	栄養士	ケースワーカー	その他	合計
専従	61	626	99	18	2	168	974
兼務	100	132	52	80	38	30	432
合計	161	758	151	98	40	198	1,406

透析歴別人数(患者調査票より)									
透析歴	男性		女性		合計		記載なし		総計
2年未満	492	(21.35)	298	(19.21)	790	(20.49)	0	()	790 (20.49)
2年～	588	(25.52)	345	(22.24)	933	(24.20)	0	()	933 (24.20)
5年～	581	(25.22)	399	(25.73)	980	(25.42)	0	()	980 (25.42)
10年～	305	(13.24)	216	(13.93)	521	(13.51)	0	()	521 (13.51)
15年～	146	(6.34)	112	(7.22)	258	(6.69)	0	()	258 (6.69)
20年～	96	(4.17)	81	(5.22)	177	(4.59)	0	()	177 (4.59)
25年～	51	(2.21)	46	(2.97)	97	(2.52)	0	()	97 (2.52)
30年～	24	(1.04)	30	(1.93)	54	(1.40)	0	()	54 (1.40)
35年～	18	(0.78)	19	(1.23)	37	(0.96)	0	()	37 (0.96)
40年～	3	(0.13)	5	(0.32)	8	(0.21)	0	()	8 (0.21)
合計	2,304	(100.00)	1,551	(100.00)	3,855	(100.00)	0	()	3,855 (100.00)
不明	0		0		0		0		0
記載なし	0		0		0		0		0
総計	2,304		1,551		3,855		0		3,855
平均	7.31		8.49		7.79		0		7.79
標準偏差	7.47		8.48		7.91		0		7.91

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

最長透析歴(患者調査表より)	
最長透析歴	45年8ヶ月